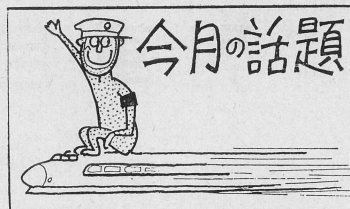


鉄道ピクトリアル

1968年3月号 Vol. 18 No. 3

■表紙	「近鉄新特急車12000形」	近畿日本鉄道	提供
■カラー頁	「紅の新鋭ラッセル車DE15形」	国鉄広報部	提供
■グラフ	キマロキ出勤	時事通信・共同通信	11
	鉄道と船輸送の直結 海上コンテナ	国有鉄道	12
	オートエクスプレス	国鉄広報部	14
	実用化も近い 列車自動運転	国鉄広報部・鉄道技術研究所	16
	高山線昨今	期待される総合輸送改善計画	
		浅野 幸男・岸 義則・国鉄中部支社	18
	第12回鉄道写真コンクール作品集		
	単機回送 (佳作)	小林 憲一	43
	雪の夜 (佳作)・夜の機関車 (佳作)	八田 一郎・菅野 敬夫	44
	深夜の構内 (佳作)	榎原 保昭	45
	近鉄新特急車12000	近畿日本鉄道	46
	欧州の第一線に活躍する機関車シリーズ(6)		
	DRB・DB・DRの蒸気機関車	峰岸 彰	48
	沼宮内にて (2頁大・解説79頁)	岸 幸男	50
	DE15のアンクル	国有鉄道	52
	わだいのくるま (176) 西武鉄道モハ801・クハ1801形	赤荻 洋	54
	沼宮内雪景	岸 幸男	56
	富士急行 (1)	中川 浩	58
	トピックフォト		
	(北海道・東北、関東、中部・北陸、関西、中国・九州だより)		83
■本文			
	今月の話題・地下鉄電車燃える	編集部	3
	列車自動運転について	倉内 一長	4
	成田線電化と車両の配置運用	関口 光義	8
	海上コンテナ輸送専用車誕生	村井 健三	19
	オート・エクスプレスの制度と現状	長木 義信	24
	ヨーロッパのマイカー輸送作戦	中川 浩	27
	DE15形液体式ディーゼル機関車	小杉 毅	31
	近鉄新特急車両12000形	中川 利雄	34
	私鉄高速電車発達史〔16〕	中川 浩	35
	資料・日本の私鉄〔18〕	和久田康雄	39
	鉄道事始のはなし〔16〕「1,750mm動輪のはじめ」	浦川 耿介	59
	高山本線輸送改善計画	須田 寛	60
	欧州の第一線級機関車〔6〕DB・DRB・DRの蒸気機関車	峰岸 彰	63
	私鉄車両めぐり〔74〕「富士急行」(1)		
		井上 幹治・金城 光英・加藤 新一	66
	書評②「赤い腕章」	和久田康雄	73
	SL末っ子物語〔5〕「D52, C62, D62」	渡辺 肇	74
	東北ローカル線シリーズ(終)「雪深き長井・米坂線」	久保田 博	76
	質問に答える		78
	鉄道の話		79
	車両の動き		80
	1月のメモ帳		82
	第13回鉄道写真コンクール作品募集及び同コンクール無審査作品		
	歴史を記録する日本の蒸気列車写真真集		91
	読者短信		92
	TTKだより・後部車から		95



カット 土屋 昭雄 画

地下鉄電車燃える

1月27日12時50分ごろ、営団地下鉄の日比谷線六本木一神谷町駅間で相互乗り入れしている東武鉄道普通第B1201T列車(6両編成)―2000形の3両目から発煙があったので、旅客を降車させ回送列車として運転中、同車両の主抵抗器付近から発火があったので消火手配の後、後続列車と併結、発車しようとしたが停電のため運転不能。一方、火勢が衰えないので消防車・排煙車の出動を要請、3両目を全焼して15時35分ごろ鎮火した。消火作業により列車乗務員・駅務員8人が軽傷を負ったが乗客には被害はなかった。

この事故は普通の車両火災であるが、ここに看過できない二つの課題を投げた。一つは「燃えない車両」を看板とする地下鉄電車が完全に焼失したこと、いま一つは地下鉄火災の防災施設と訓練がなかったことだ。前者は早くから営団地下鉄がPRに努めた点であるが、全鋼製といえども木製部もあれば、化繊・絶縁物もふくまれる。「難燃車」といわずして「不燃車」といった点に問題がある。また、後者は空車の故障ということで、油断と訓練・施設の不足・不備で初期消火を誤ったものといえないこともない。

原因は抵抗器の過熱らしいが、いづれにせよ、関係者の訓練はいうまでもないが、不燃性と思われていた資材を、看板通りに信頼させるための努力と検討がのぞまれる。

〔表紙〕「近鉄新特急車12000形」
近畿日本鉄道 提供
12000形 近畿車輜構内 '67.12.20
リンホフ スクナー150mm 絞り16 タイム
1/125 エクタクロームX

〔カラー頁〕「紅の新鋭ラッセル車DE15形」
国鉄広報部 提供
DE15〔名〕 深名線天塩弥生付近
'68.1.20

リンホフテクニカ オートロッドF3.5
絞り11 タイム1/100 エクタクロームX

TETSUDÔTOSHO KANKÔKAI
New Kokusai Bldg. Marunouchi
3-4, Chiyodaku, Tôkyô/Japan